

区職員向け「2030 SDGs」カードゲーム研修を実施

区として初の試み SDGs を体感し自分ごとに

豊島区は、令和3年2月17日（水曜）に、「2030 SDGs」カードゲームを活用した区職員向け研修を区として初めて実施します。

当区は、令和2年7月17日、内閣府よりSDGsへの優れた取組を行う自治体として「SDGs未来都市」に選定されました。その中で、特に先導的な取組として「自治体SDGsモデル事業」にも選定されており、国内の代表都市として、SDGsの新しいモデルとなる持続可能なまちづくりを進めています。

本研修で使用する「2030 SDGs」カードゲームは、SDGsの本質の考え方をわかりやすく伝えるために、株式会社プロジェクトデザインと一般社団法人イマココラボが共同開発したビジネスゲームです。SDGsの17の目標の達成に向けて、様々な価値観や異なるゴールをもつ参加者によって2030年の世界がどうなっているかをシミュレーションしていきます。ゲームを通じて区職員がSDGsを自分ごととして理解することを期待し、区として初となる「2030 SDGs」カードゲーム研修を企画しました。

当日は、全課から1名以上参加し、SDGsの基礎的な内容や、経済・社会・環境の好循環の考え方をカードゲームで体感して学ぶとともに、ゲーム終了後の振り返りでは、参加者同士がSDGsと互いの業務とのつながりや影響について理解を深めていく予定です。

区の担当者は「カードゲームを通じてSDGsの本質を理解し、SDGsの観点に立った事業の推進に活かしてほしい」と語っています。

- 日時 令和3年2月17日（水曜）
①午前9時～12時30分 ②午後1時30分～5時（全2回実施）
- 場所 区役所本庁舎1階「としまセンタースクエア」（南池袋2-45-1）
- 受講職員数 120名（各回60名）

問合せ：研修に関すること 人事課 人材育成グループ

SDGs全般に関すること 企画課 SDGs未来都市調整グループ